

平成29年11月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	平成29年11月21日 (火)		
2 開会及び閉会	開会	13時00分	
	閉会	13時25分	
3 出席委員	教育長	菅野和良	
	委員	奥津晋	
	委員	藤原佳代子	
	委員	石井希典	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	安田充年	教育次長	天野和弘
統括審議監(企画調整担当)	小西洋史	審議監(学校教育担当)	三宅泰司
審議監(社会教育担当)	澤岡哲雄	審議監(企画総務担当) (教育企画総務課長事務取扱)	村田守
審議監(公民館担当) (中央公民館長事務取扱)	西崎修	学校施設課長	齋藤和美
教育給与課長	神原徹	指導課長	岡林敏隆
中央図書館長	宮本嘉彦	審議監(企画総務担当) (こども企画総務課長事務取扱)	吉實達男
地域子育て支援課課長補佐	田中光彦		
事務局(教育企画総務課課長補佐)	生田裕宣	事務局(教育企画総務課係長)	松原琢磨
5 議題及び結果			
なし			
6 教育長等の報告 [平成29年10月14日(土)～平成29年11月10日(金)]			
10/14～15	自然体験リーダー養成講座 step3-①		地域子育て支援課
10/16	子どもが輝く学びづくりプロジェクト		指導課
10/18	子どもが輝く学びづくりプロジェクト		指導課
10/19	子どもが輝く学びづくりプロジェクト		指導課
10/19	子どもが輝く学びづくりプロジェクト		指導課、保育・幼児教育課
10/20	岡山子どもESDフォーラム		指導課
10/24	こらぼミーティング「岡山商工会議所女性会と教育委員会との意見交換会」		教育企画総務課
10/25	子どもが輝く学びづくりプロジェクト		指導課

10/26	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課、保育・幼児教育課
10/27	教育長学校訪問	教育企画総務課
10/27	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課
10/27	英語教育推進指定校授業研究会	指導課
10/28～29	自然体験リーダー養成講座 step3-②	地域子育て支援課
10/30	教育長学校訪問	教育企画総務課
10/31	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課
10/31	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課、保育・幼児教育課
11/5	わくわく子どもまつり in 岡山ドーム	地域子育て支援課
11/6	教育長学校訪問	教育企画総務課
11/7	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課、保育・幼児教育課
11/8	教育長学校訪問	教育企画総務課
11/8	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課
11/10	教育長学校訪問	教育企画総務課
11/10	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課、保育・幼児教育課
石井委員 指導課長	<p>○ たくさん項目があるが、子どもが輝く学びづくりプロジェクト公開授業の状況について聞きたい。</p> <p>○ 学びづくりプロジェクトは、今年度から授業研究に特化した取組として始めている。具体的には、お1人の先生に授業をしていただく。その1つの授業をもとに、子どものかかわりや授業の流れ、教員の子どもへの投げかけ方、かかわり方を中心に深い協議をしていただく。そうすることによって、授業づくり、授業研究というような文化を岡山市の学校へ根づかせていきたいというところで今年度取り組んでいる。</p> <p>運用に当たっては、授業に当たったクラス以外のクラスは早目に下校させて、一クラスだけ残して全員の先生で授業を見るというスタイルをとっている。授業をしていただく方は校内でも若手の方をお願いしている。若手の方という意味合いは、1人が自分のアイデアだけで授業をするのではなく、ベテランの先生、管理職の方からのアドバイスを受けて、学校全体で授業をつくってほしいということで、今はほとんどの学校で、20代後半や新採用5年目前後の方に授業をしていただいている。これまでいきいき学校園づくりという授業研究、授業公開があったが、その取組よりも深い協議、活発な先生方の意見交換が行われているということで、想定以上の効果があると思っている。</p>	
石井委員 指導課長	<p>○ 授業が終わった後に、校内の先生方と校外の先生方も含めて皆さんで協議をされる時間があったと記憶しているが。</p> <p>○ 校内の先生はもちろんだが、中学校区の先生方、それから、広く岡山市内にも全校に案内しているので興味関心をお持ちの方、また、地域の方や保護者の方、PTAのリーダーのような方にも、協議は参加されないが、授業は見ていただく形になっている。</p>	
石井委員 指導課長	<p>○ 校外の小学校、中学校の先生の人数など、参加状況はいかがか。</p> <p>○ 正確には数えてなく、中学校区それぞれの学校の実態の違いもあるが、年々ふえているような感覚でいる。行こうと思うと、自分の学校の子どもたちをどうにかしないと参加は厳しいので、進んでいるところは、公開に向けて自分のところの子どもたちも早目に下校させてみんなで出ていく、ということを考えておられる中学校もあり、これは強制的にそうしなさいということは申ししていないが、そのような輪が広がればいいと思っている。</p>	
石井委員	<p>○ たくさんの方が参加されて準備も大変だと思うが、多くの方がサポートして、よりよくなっていくというのがいろいろなところで広がっていけば、なおいいと思った。</p>	
藤原委員	<p>○ 同じくプロジェクトについて、大分成果が上がって、前のいきいき学校園づくりをバージョンアップさせて定着しつつあるということは度々行かせてもらって感じるが、評価というか、学校園へのサポートとして、例えば教育研究研修センター</p>	

指導課	<p>のかかわりや指導課のかかわり、教職員課はいろいろな帳簿類を見られているのだと思うが、主にセンターとのかかわりは、当日、その後はどうか。</p> <p>○ これは、こちらからの訪問人数をかなり絞っている。担当の指導主事と管理職1名の原則2名で行ってやるが、事前の準備に当たっては、指導案の検討などは教科の指導主事が積極的にかかわるようにしている。今年度4分の1の学校が授業公開していただいているが、残り4分の3の学校のうち、4分の1の学校は全員に公開をお願いしている。いつでもいいから公開してほしい、都合がつけば行くということをお願いしているが、そこにはセンターの指導主事も積極的にかかわっていただいている状況である。</p>
藤原委員	<p>○ かかわりがいいと思うが、もう少し有機的にするために、例えば先ほどの公開授業をするのは若手代表ということになれば、センターのほうは若手教員を育てるためにというリーフレットをつくるなど、そこを焦点化しているの、そこと深いのかかわりがあったほうが、事後にセンターが持っている研修講座に生かせるのではない。幼小中の縦のつながりの捉え方や、先生育成や地域とのかかわりは、指導課が一番情報は持っていると思うが、よりセンターとかかわって広めることができたらと思った。</p>
教育長	<p>○ 今言われたことは望ましいことだと思う。センターがそういった部分を担うのがいいが、センターはセンターで研修がものすごく密になっているので、合間を縫って行かないといけないが、センターにしかない教科の専門家もいるから、そういう方はできるだけ出ていただくように。</p>
藤原委員	<p>○ 授業を見なくても、課題が上がったことなどで、センターと指導課は連携を図っていると思うが、そこでやっていたら応用がきくようなことができるのでは。</p>
教育長 奥津委員	<p>○ 他にないか。</p> <p>○ わくわく子どもまつり in 岡山ドームの概要と、参加者が1万8,000人とかなり多いので、参加者の年齢層などについて説明願いたい。</p>
地域子育て支援 課課長補佐	<p>○ わくわく子どもまつり in 岡山ドームだが、これは平成16年から始まったもので、今回14回目を数えている。実行委員会形式でやっていて、その中には岡山市内の子育て支援団体、幼稚園、保育園、公立、私立問わず、多くのNPOの方々に参加していただいている。</p> <p>これは当日配布したチラシだが、岡山ドームの中を会場にし、多くのブースで体験ということを重要視した遊びの場を提供している。基本的には、全ての体験が無料になっている。幾つかが2個目以上は有料という形だが、自分たちでつくる、または自然にある物を工作した物で遊ぶということをしている。対象年齢は幼稚園、保育園から小学校低学年までとは思っているが、小学校高学年の子もいる。今回も中学生ボランティアを岡山市内の中学校に募集したところ、100名程度の中学生が活動してくれている。また、今年度からは岡山南高等学校さんが参加され、生活創造学科やそういうことを学習している子どもたちが実演の場としてブースを設けている。今回はステージ発表が9団体、ブースが46、屋台が18で合計73団体の方々を集まっただけ、この1万8,000人という集客になったのではないか。</p>
奥津委員 地域子育て支援 課課長補佐	<p>○ 年々規模は大きくなってきているのか。</p> <p>○ 規模は少しずつ大きくなっており、これまでブースを出されていた方々が、都合で今年度は出ない、また新たに出るということで増えたり減ったりはしているが、10年前に比べるとかなり増えているという状況である。</p>
石井委員 教育長	<p>○ 先月の会議でも聞いたが、教育長の学校訪問の状況を教えていただきたい。</p> <p>○ 今回事業報告で出ているのは、福南中、第一藤田小、大宮小、第二藤田小、馬屋上小。福南中は私が以前、勤務したことがある南輝小学校の卒業生が行く中学校だが、基本的には当時に比べると落ちついている。中学校の先生が自分たちの授業を変えようと本当に必死になって動かれている、そういうのが垣間見えた。</p> <p>小学校は総じて小さい学校が多く、例えば、大宮小が全校21名、馬屋上小は16名というような学校である。しかし、小さいということをメリットにして、いろいろ補助の先生を中心に工夫して学力をつけ、また、多様な考えが生まれるような授業の工夫をして取り組んでいらっしゃるというのは垣間見ることができた。特に馬屋上小は16名という数字で、学校として本当にいいのかどうかは、また考えて</p>

	<p>いけないといけないが、建物も立派だし、学校としてきちんと成立しているということはある。</p> <p>大宮小は、私が行くということを地域の人が聞いて、統廃合かということに騒がれていたようだが、決してそんなことで来たのではないのだということでは話しているが、かなり敏感になっている。山南中学校区は大宮小も朝日小も小さく、そういうのは感じた。しかし、本当に勉強に向かう姿勢がよかった。ただ、保護者の意向として、もし勉強ができたなら東京や大阪へ行ってしまう、もとへ戻ってこないようになるのではと。だから、そうできなくてもいいと言う保護者もいるのだということも言われたようで、これは馬屋上小などにもあり、なかなか難しい。しかし、それは別の問題として考えていくべきで、学力はしっかりつけていくということは大切なことなので、どの学校もいい動きをされていると思った。</p>
石井委員	<p>○ 教育長が行かれるとあって、それで保護者の方も含めていろいろな意見が聞かれるというのは、大変な部分もあると思うが、価値があることと感じた。</p>
藤原委員	<p>○ 同感である。先日、市町村の教育委員会の協議会が倉敷で開催され、岡山市は政令市として行かせてもらっているが、その部会が4つあり、私が行ったのは市の学習指導要領の部会だったが、県北の方々が小規模校のことをすごく訴えられていた。そこで、岡山市さんはいいですねと言われたので、いや、岡山市にも小規模校はたくさん周辺にもあると言うと、その複式の中で新しい英語教科が入ったときに、学年が違って同じ英語をしていいものか、そんな具体的なことも心配されていた。だから、教育長が足を運んで、小規模校の困ったことやメリット、大規模校の困っていることやその反対のことを体感されるのは意義がある。私たちももっと学プロで行かないといけないと思いながら、なかなか行けないが、本当にそう思った。</p> <p>違う質問になるが、8番のこらぼミーティングで、私たちは参加させてもらったが、女性会とは初めてか。</p>
教育長 奥津委員	<p>○ 初めてである。</p> <p>○ 岡山商工会議所の女性会と、女性の社長さんばかりと懇談をしたが、働く女性のパワフルさというか、家庭と仕事の両立で悩まれているのもあれば、また従業員を雇っている立場というところから、その従業員に子どもがいて、急に病気になったら休みをとらさなければいけないなど多面的な悩みやニーズというのが非常に出てきたと感じた。非常に貴重な意見をもらえた。</p>
教育長	<p>○ 恐らくあの方々が管理職になられたころというのは、まだまだ女性の社会進出に対しては理解が少なかったときではないかと思うが、だから余計にいろいろなことを考えられていて、パワフルで、私たちの子育てのときとは今の若い人は違うというようなこともあったが、今の若い人たちにしっかり合わせていこうと努力され、ご苦労は絶えないというのも感じた。</p>
藤原委員	<p>○ マネジメントの難しさなどいろいろ言われていたが、休暇をとって学校へ行くということが少ない。高学年、中学校になるにしたがって。だから、企業の経営者として積極的に年休をとってでも参観日や学校の行事に参加してほしいという話が出たときに非常に共感してくださり、男性も女性も含めてそういうことに休みを使ってくれるならありがたいです、と言ってくださったので、少しそういう声かけをしてもらえると、学校の中のことを見てもらえるということでもいいと思った。</p>
石井委員	<p>○ 私も皆さんと同様に、働かされている、特に経営までされている女性の方は、非常に多岐にわたってさまざまな面で力を発揮され、苦労もされていると感じたが、教育に関する関心や熱意なども合わせて強く感じたので、何か教育に理解していただけるような連携がより図っていければいいと思っている。</p> <p>また、今の休みのところで個人的に思うのは、会社でその休みを、例えば有給をつくっても、中学生ぐらいになると夏休みでも部活があり、小学校の下の子は行くが家族みんなでは行けない、という話をよく聞くので、休みの間の部活動の何となく休みにくいということも、保護者や企業という立場からいうと、もう少し休んでもいいのではというような感覚も持っている。</p>
教育長 全委員	<p>○ そのほか、事業報告はあるか。よろしいか。</p> <p>○ <承認></p>

7 議事の概要

教育長	○ 11月定例岡山市教育委員会を開催する。
教育長	○ 本日の傍聴希望者はいない。
教育長	○ 日程第1、会期は本日1日限りとしてよいか。
全委員	○ <承認>
教育長	○ 日程第2、10月の定例会の議事録があるので、問題がなければご署名願う。
全委員	○ <承認>
教育長	○ 日程第3、事業報告について質問はないか。 (会議録6「教育長等の報告」に記載)
教育長	○ それでは、次の議事に入る前に会議の公開、非公開について諮る。日程第4、報告第25号から第30号は、教育事務に関する議会の議案についての市長への意見の申し出に関する事項として、会議規則第7条第1項第3号に該当するため非公開としたい。委員の皆様いかがか。
全委員	○ <承認>
教育長	○ それでは、日程第4の報告第25号から第30号は非公開と決定する。

傍聴の状況

報	道	0名
一	般	0名

平成29年11月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	平成29年11月21日（火）		
2 開会及び閉会	開会	13時25分	
	閉会	14時25分	
3 出席委員	教育長	菅野和良	
	委員	奥津晋	
	委員	藤原佳代子	
	委員	石井希典	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	安田充年	教育次長	天野和弘
統括審議監（企画調整担当）	小西洋史	審議監（学校教育担当）	三宅泰司
審議監（社会教育担当）	澤岡哲雄	審議監（企画総務担当） （教育企画総務課長事務取扱）	村田守
審議監（生涯学習担当）	近藤康彦	審議監（公民館担当） （中央公民館長事務取扱）	西崎修
学校施設課長	齋藤和美	教育給与課長	神原徹
指導課長	岡林敏隆	生涯学習課課長代理	安東信哉
中央図書館長	宮本嘉彦	審議監（企画総務担当） （こども企画総務課長事務取扱）	吉實達男
事務局（教育企画総務課課長補佐）	生田裕宣	事務局（教育企画総務課係長）	松原琢磨
5 議題及び結果			
報告第25号	専決処理の報告（市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について）	承認	
報告第26号	専決処理の報告（市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について）	承認	
報告第27号	専決処理の報告（市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について）	承認	
報告第28号	専決処理の報告（市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について）	承認	
報告第29号	専決処理の報告（市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について）	承認	
報告第30号	専決処理の報告（市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について）	承認	